

シグナルトランスデューサ取扱説明書

MODEL 7541, 7542

1. 概要

本器は交流電流、電圧を入力信号とし、実効値整流（または実効値演算）回路で変換しご希望の直流電圧や直流電流に変換するコンパクトな絶縁信号変換器です。ただし、MODEL 7541の電圧入力是非絶縁となっています。

なお、MODEL 7541は実効値整流回路（補助電源は不要）、MODEL 7542は実効値演算回路（補助電源付き）で交流を直流に変換します。

取付は、DINレールにワンタッチで着脱できるプラグイン方式を採用していますので、取付工数が大幅に削減できます。

2. 取扱方法

1) 取付

添付している端子台をDINレールに取付けるかまたはM4ネジで固定して下さい。

なお、2ヶ以上連続して取り付ける場合は、図1のような間隔をあけて取り付けて下さい。

2) 設置場所

設置場所は周囲温度が 5 ~ 55 の範囲で、湿度は90%RH以下の結露しない所をお選びください。

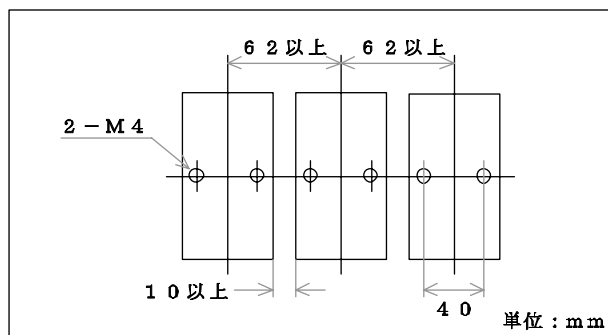


図1

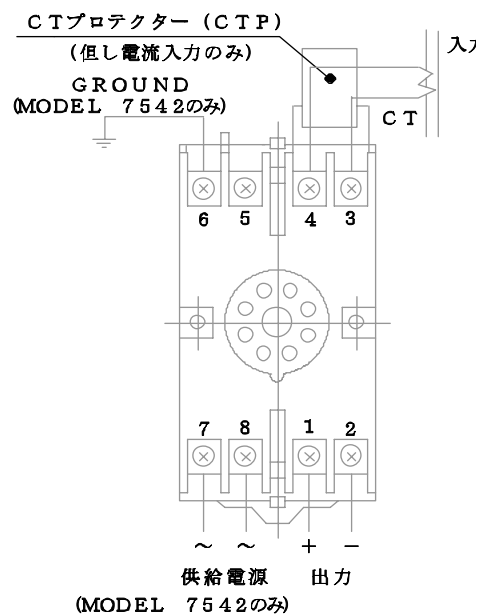


図2

3) 配線

1. 本器の端子台の端子ネジはM3.5です。圧着端子等で、正確、確実に配線して下さい。
2. 配線は図2の接続図により接続し、電線は回路の定格容量に適合するものを使用して下さい。

なお、電流入力のみCTプロテクター (CTP) を添付しております。CTプロテクター (CTP) を端子台の入力端子間に取り付けておくと測定中に本器を端子台から取り除いた場合でも測定ラインがオープンにならないので、前段のCTが破壊するのを防止することができます。

3. 入力信号、出力信号、電源電圧の定格や配線を確認してから電源を投入して下さい。

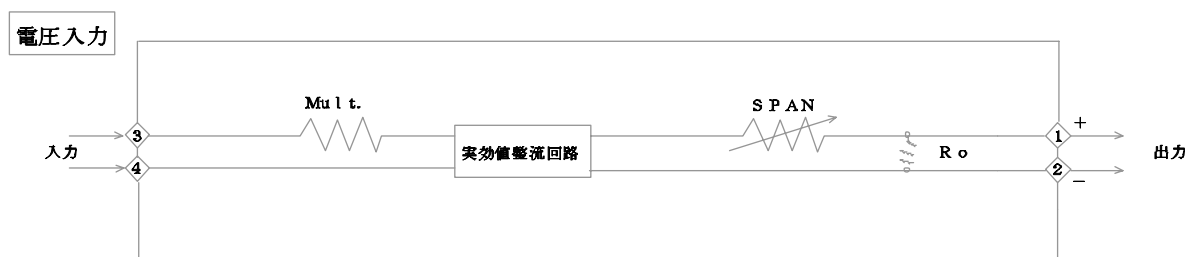
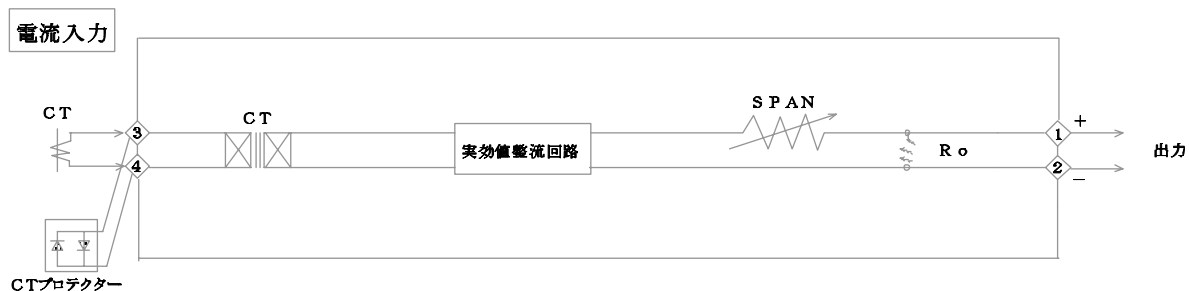
3 . 調 整

出荷時には、許容差内に調整してありますが、校正をする場合は前面の Z E R O (ただし、 M O D E L 7 5 4 1 には付属していません。) 及び、 S P A N ボリュームで調整して下さい。調整範囲は、 Z E R O が約 $\pm 5\%$ 、 S P A N が約 $\pm 10\%$ となっています。

校正は 23 ± 2 、 $75\% RH$ 以下の周囲条件で行って下さい。

4 . ブロック図

7 5 4 1



7 5 4 2

